A 試合会場レポート

試合番号 **218** 開催日 **2019/02/16**

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN レギュラーラウンド

会場： **大田区総合体育館**

観客数:2500	開始時刻:13:00	終了時刻:15:05	試合時間:2:05	主審:高橋　宏明	副審:村中　伸

FC東京

監督　：ロディ　アレッサンドロ
コーチ　：坂本　将康

通算　：7 勝 17 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：21

JTサンダーズ

監督　：ヴコヴィッチ　ヴェセリン
コーチ　：サトレル　ティネ

通算　：15 勝 10 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：47

3	25	第1セット【0:21】	17	1
	25	第2セット【0:30】	22	
	22	第3セット【0:26】	25	
	28	第4セット【0:32】	26	
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ 3　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ 0

第1セット

25	手原	栗山	劉	深津	17
	ﾃﾞﾛｯｺ	手塚(玉宅)	小野寺	安永(八子)	
	小田嶋	小森	ｴﾄﾞｶﾞｰ	山本	

リベロ: 橘　リベロ: 井上(航)

第2セット

25	小森	小田嶋	深津	安永	22
	手塚(玉宅)	ﾃﾞﾛｯｺ	劉(武智)	山本	
	栗山	手原	小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	

リベロ: 橘　リベロ: 井上(航)

第3セット

22	手原	栗山	武智	深津	25
	ﾃﾞﾛｯｺ(野瀬)	手塚(玉宅)	小野寺	安永(久原)	
	小田嶋	小森(長友)	ｴﾄﾞｶﾞｰ	山本	

リベロ: 橘　リベロ: 井上(航)

第4セット

28	小森(玉宅)	小田嶋	深津	安永(久原)	26
	手塚	ﾃﾞﾛｯｺ(野瀬)	武智	山本(八子)	
	栗山	手原(山田(要))	小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	

リベロ: 橘　リベロ: 井上(航)

第5セット

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

ＪＴはとても強力な相手ですが、今日の試合は自分たちの力のほうが勝っていたと思います。ホームゲームのアドバンテージを生かし、良いパフォーマンスをすることができて良かったです。
本日はたくさんの応援ありがとうございました。

<監督コメント>

最初の２セットは相手の勢いに押される形となってしまった。３セット目以降は自分たちのリズムを作れたが、４セット目のリードを守ることが出来ず、フルセットまで持ち込めなかったのが残念だった。
本日もファンの皆様ご声援ありがとうございました。

<要約レポート>

今季ホームゲーム最終週連勝したいＦＣ東京と、勝利しファイナル６出場を決めたいＪＴサンダーズの一戦。
第１セット、序盤からＦＣ東京は栗山のサーブで崩し４連続得点をあげリードすると、全員でレシーブをあげ、手原が落ち着いたゲームメイクをみせる。その後も小森、手塚のサービスエースや小田嶋のブロックで着実に得点し、ＪＴに１度の連続得点しか許さずセットを先取する。
第２セット、ＪＴは小野寺のアタック、エドガーのブロックでリードするが、ＦＣ東京はすぐに手塚の連続サービスエースで追いつく。中盤、ＦＣ東京は、代わって入った玉宅がサービスエースを決めリードすると、相手のレシーブの間を突くアタックで得点を重ねセットを連取する。
第３セット、ＦＣ東京は手塚がアタック、ブロックで連続得点をあげると、負けじとＪＴは前セットから途中出場の武智が同様に連続得点をあげ、その後も深津、小野寺、エドガーの３連続得点でリードする。中盤、ＦＣ東京はデロッコの連続アタックで同点に追いつく。しかし、ＪＴはエドガー、山本が奮起しアタックを決め、セットを取り返す。
第４セット、ＪＴは武智、山本、井上(航)が守備を堅め、小野寺、安永が得点をあげてリードする。その後も確実に得点し、リリーフサーバー久原のサービスエースで６点差をつけ、フルセットに持ち込むかと思われた。しかし、ＦＣ東京はセッターを山田に代え、手塚、栗山のアタック、玉宅のサービスエースで追いついてデュースに持ち込む。最後はデロッコのブロックで勝利を掴み取った。

作成者 ： 高澤　佳江

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。